

はばたけ

第74号

2007年6月18日発行
栃木障害者の自立をめざす会
会長 小島 幸子
事務局：〒328-0003
栃木市大光寺町 347-2
TEL 0282-29-6111

…私たちは障害者が生まれた地域で生き生きと働き生活していける村作りをめざします。…

会長あいさつ

会長 小島 幸子

さわやかな初夏の季節を迎えました。会員の皆様は、いかがお過ごしでしょうか？

去る4月29日に行われた定期総会では栃木市の片柳保健福祉部長をご来賓にお迎えし行われました。活発な討議の結果、提案された議題はすべて承認されました。新たな1年のスタートです。引き続き会員の皆様のご協力をお願いいたします。総会後の昼食会では、会員、仲間たち、そして保護者と和気あいあいと楽しい時間を共有することができました。

ご心配おかけしております理事会への要望事項は、未だ解決していませんが、人形まつりの出店などもう、事業は着々と行われています。これからもなすびの里を積極的に後援していくために役員一丸となり取り組んでまいりますのでよろしくをお願いいたします。

～2007年度役員～

顧問：中山 全央
会長：小島 幸子
副会長：新沢 修
事務局長：本間 英樹
事務局次長：川俣 禎康
会計：星 健二 谷田 美佐子
事務局員：渡部 眞江 白土 房代
嶋中 智恵子 岡 高子
会計監査：山中 よしえ 早乙女 のり子

自立の会と運動について

事務局長 本間英樹

昨年、自立の会は20周年という大きな節目を迎えました。20年間の記録をまとめた記念誌も発行されました。大量のはばたけや写真などの資料を振り返って見てみると、あらためて自立の会という障害者運動の歴史の重みをひしひしと感じます。私自身は無認可作業所の開設時から関わったのでこの歴史の半分くらいしか知りませんが、法人なすびの里を建設する過程でこの運動の持つエネルギーの高さを十分に感じる事ができました。障害を持つ仲間たちのために、働く場や生きがいの場をつくろう！という目標に向かって、多くの方々の力が集まって大きな力となっていくのを実感する事ができましたし、その中で私自身も充実感や生きがいも味わう事ができました。

しかし、私自身の運動の位置づけがどうなっているのかというと、薄まっていることは否めません。職場でも自立の会に対する関心や関わりは低いのが実情です。自立の会自体は法人設立後も、毎年様々なバザーなどに積極的に出店し収益を上げ、法人へ寄付するなど後援会としての機能はしっかりと果たしてきました。しかしこの運動という点では様々な意味で転換期を迎えているといえます。

20周年記念講演の講師、きょうされん常任理事藤井克徳氏は、こんな情勢だからこそ「運動に光を」当てるべきだと述べています。参考になるので以下に簡単にまとめると、

「なぜ運動か」の第一は、運動を強く意識することで事業体としての揺るぎない目標が見えてくるということです。第二は、運動には自分たちを錆付かせない特有の力があるということです。運動には絶えず工夫が求められ、運動もまた成長していくものと捉えるべきです。第三は、運動は制度の創設や改善に直接的な効果をもたらすということです。この運動を実質的なものとしていくためには、わたしたち一人ひとりが具体的な力を発揮していかなければなりません。具体的な力として、「伝える力」に磨きをかけていくことはもちろんですが、これに加えて「つなぐ力」「創る力」が必要になるように思います。目標に向かって、「伝える力」「つなぐ力」「創る力」が重なるときに、運動はより増幅していくに違いありません。

私自身に足りないものを反省しながらも、こんな時代だからこそ、障害を持つ

仲間たちと関係者に希望が持てるよう、自立の会としてどのような運動を押し進めていくのかしっかりと論議し見定めて、多くの方々に理解と協力を得られるようにしていきたいと考えています。

人形まつり (5月5日~6日)

関谷 清一

去る5月5日(土) 6日(日)に栃木市山車会館前にて“人形まつり”が行われました。

自立の会もなすびの里と一緒に「わたあめ、赤飯」の販売で出店しました。初日は五月晴れのもと爽やかな一日でしたが、二日目は雨にたたられ人でもいまいちの中、近くは市内から、遠くは県外からも不要となった不要となった人形を持ってこられた方もいたとのこと(人形まつり関係者談)。

連休最後の二日間お手伝いくださった方々と楽しい雰囲気の中終わりました。皆さん本当にお疲れ様でした。



収益事業報告

人形まつり (5月5日~6日)	29,300円
栃木県名発祥の地大博覧会 (6月9日~10日)	25,410円

今後の行事予定

7月	日	小江戸まつり
8月4日~5日		栃木夏まつり
	日	なすびの里まつり
9月	日	日産しらすぎまつり
10月	28日	協働まつり

きょうされん 夏の物品販売

自立の会では今年も、きょうされんの物品販売に積極的に取り組んでいきます。自立の会では、小規模作業所から法人施設建設の資金づくりのため、また現在ではなすびの里の支援のため、この物品販売を資金づくりの重要な活動と位置付けています。施設運営のみならずこの収益は仲間たちの給料としても活用され、また大きな視野に立つと全国の作業所を支援していく運動でもあります。

今回夏の物品販売のパンフを同封しましたので、趣旨をご理解の上是非たくさんの方の会員のみなさん方のご協力をお願いいたします。

第一次締め切り：6月30日

第二次締め切り：7月10日

注文先：社会福祉法人なすびの里（自立の会事務局）
（担当 前原）

〒328-0003 栃木市大光寺町 347-2

Tel:0282-29-6111 fax:0282-29-6113

-----会員募集のお願い-----

自立の会では「会員総数400名」を目標に掲げ会員の募集に取り組んでいます。会員の拡大は私達の運動の基盤作りとともに、最終目標である“障害者の村作り”に向け必要不可欠な取り組みです。

今回「会員募集の案内」を同封いたしましたので、是非お知り合いの方へのお声がけをお願いいたします。